

国語シリーズ 10

やや進んだ段階における
ローマ字文の学習指導

文部省

刊 行 の 趣 旨

国語シリーズは、国語の改善と国語教育の振興に関する施策を普及徹底するために編集するものであります。

このシリーズは、国語問題編・国語教育編・国語生活編および国語教養編に分け、問題編は、主として国語審議会の発表した事がらを、教育編は国語学習指導の方法などを、生活編は国民の言語生活に関する事がらを解説するものであり、教養編は一般の国語教養を高めることを目的とするものであります。

すでに国語問題編は3編、国語教育編は2編、国語生活編は4編を刊行しましたが、各編にわたって逐次刊行する予定であります。

この本は、国語教育編の第3編として、文部省ローマ字教育実験調査研究会で作成した「昭和27年度ローマ字教育実験学級指導試案」を改訂・修補したものであります。

この試案は、もともと小学校第3学年の第2学期からローマ字教育を始めた「やや進んだ段階」の第4学年を対象として書かれたものでありますが、教材の程度・時間数などを加減することによって「やや進んだ段階」(第5学年)におけるローマ字学習の指導法と考えていただければよいのであります。

なお、上記試案の執筆およびこれの改訂・修補は、ローマ字教育実験調査研究会・ローマ教育実験学級関係のかたがたの御尽力によるものであり、ここに付記して厚くお礼申しあげます。

昭和28年2月

文部省調査局国語課長 白石大二

目 次

| | |
|------------------------|----|
| § 1 第2年度の指導 | 1 |
| 〔I〕 方針 | 1 |
| 〔II〕 段階 | 1 |
| 〔III〕 教師の慣れと指導性 | 2 |
| 〔IV〕 能力別指導 | 2 |
| 〔V〕 読むことの指導 | 4 |
| 〔VI〕 教師の指導すべき言語能力と言語技術 | 6 |
| 〔VII〕 書くことの指導 | 9 |
| 〔VIII〕 話すことの指導 | 11 |
| 〔IX〕 聞くことの指導 | 13 |
| 〔X〕 観察評価すべき点 | 13 |
| § 2 第1段階の指導 | 14 |
| 〔I〕 書くことと読むことの関係 | 14 |
| 〔II〕 読むことの指導 | 15 |
| 〔III〕 書くことの指導 | 20 |
| 〔IV〕 特に観察すべき点 | 22 |
| § 3 第2段階以後の指導 | 23 |
| 〔I〕 方針 | 23 |
| 〔II〕 計画のたて方 | 25 |
| § 4 第2段階の指導 | 27 |
| 〔I〕 読むことの指導 | 27 |
| 〔II〕 書くことの指導 | 33 |
| 〔III〕 特に観察すべき点 | 34 |

| | |
|----------------|----|
| § 5 第3段階の指導 | 35 |
| 〔I〕 読むことの指導 | 35 |
| 〔II〕 書くことの指導 | 37 |
| 〔III〕 特に観察すべき点 | 39 |

参 考

| | |
|--------------------------|----|
| 〔1〕 学習指導の例 | 41 |
| 〔2〕 話題による学習指導の例 | 63 |
| (1) 「発表会をしよう」 | 63 |
| (2) 「手紙を書こう」 | 68 |
| (3) 「夏休みの日記」 | 73 |
| 〔3〕 学級別学習指導観察記録簿記入要領 | 76 |
| 〔4〕 昭和27年度ローマ字教育実験学級のテスト | 86 |
| 1 第1期テスト実施要項 | 86 |
| 2 第2期テスト実施要項 | 93 |

付 録

| | |
|-----------------------|-----|
| 文部省におけるローマ字教育実験調査について | 105 |
| ローマ字教育実験調査研究会委員名簿 | 108 |
| ローマ字教育実験学級名その他 | 109 |

別 表

学習指導予定表 (はさみこみ)